

校長	教頭	事務長	保健主事	養護教諭

年 月 日

学校長 様

学校薬剤師 _____ 印

学校環境衛生検査報告書

検査項目: 1)二酸化炭素濃度
2)一酸化炭素濃度
3)外気温度、教室内の温度
4)室外の湿度、教室内の湿度
5)暖房器具、換気扇の使用状況

日 時: 令和 年 月 日 ()

場 所: 生徒在室時の教室

目 的: 教室内の空気清浄度を維持し、快適な学習環境を整える。

検査方法: 1)二酸化炭素濃度:ガス検知管(二酸化炭素)
2)一酸化炭素濃度:ガス検知管(一酸化炭素)
3)温度計
4)湿度計
5)暖房器具・換気扇の使用状況、管理状況について調べる。

検査結果: 別紙のとおり

指導助言事項:

1)二酸化炭素濃度

2)一酸化炭素濃度

3)温度計

4)湿度計

5)暖房器具・換気扇の使用状況

空気一斉調査報告書

(小学校・中学校)

校長 氏名 _____ (印)

学校薬剤師 氏名 _____ (印)

調査年月日	令和	年	月	日(曜日)	限目
-------	----	---	---	--------	----

調査日の天候	天気	(終了時) 室外気温	℃	・ 室外湿度	%
--------	----	------------	---	--------	---

調査教室	年	組 (階)
------	---	--------

在室人数	名 (測定者	名を含む)
------	--------	-------

暖房器具の種類	ガスストーブ・石油ストーブ・空調機・その他()	
使用時間	暖房器具の使用時間	分

換気扇の有無	有り・無し
使用状況	使用中・不使用

休憩時間の換気状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外側だけ窓または換気窓を開ける ・ 廊下側だけ窓または扉または換気窓を開ける ・ 外、廊下側とも窓、扉、換気窓を開ける ・ 換気しない、またはできない
(該当するものに○)	

	測定時間	二酸化炭素濃度	室温	湿度
二酸化炭素濃度	授業開始時	%		
	授業終了時	%	℃	%
室温・湿度	休憩時間終了時	%		

一酸化炭素濃度	測定時間	時	分	ppm
---------	------	---	---	-----

≪基準≫ 教室の温度: 冬期では、10℃以上であることが望ましい。
 教室の湿度: 湿度は、30～80%であることが望ましい。
 二酸化炭素濃度: 室内は、1500ppm(0.15%)位下が望ましい。
 一酸化炭素濃度: 室内は、10ppm(0.01%)位下が望ましい。

≪所見≫